

業務状況説明書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)



富士見市下水道事業

1 令和5年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して調定件数が、2,339件(1.47%)の増加となっており、1日平均処理水量は、937m³の減少、有収水量は、72,649m³の減少となっております。

区 分 \ 年 度	令和5年度 上半期	令和4年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
調 定 件 数 (件)	161,400	159,061	2,339	1.47
1日平均処理水量 (m ³)	32,620	33,557	△937	△2.79
有 収 水 量 (m ³)	5,215,083	5,287,732	△72,649	△1.37

(※調定件数は、2か月毎に下水道使用料を賦課している件数の累計のこと。)

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、人孔蓋取替工事(針ヶ谷地内外)、管渠更生工事(山室1丁目地内外)及び管渠修繕等実施設計業務委託(大字勝瀬地内外)を実施しています。雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、自家発電機の更新工事及び消防設備の改良工事を実施しています。

特定環境保全公共下水道事業につきましては、人孔蓋取替工事(上南畑地内外)、新河岸第12-2-2処理分区(大字鶴馬地内外)の管渠築造工事及び舗装本復旧工事(大字南畑新田地内外)を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,827,360	849,818	46.51	事業費	1,680,336	331,991	19.76
営業収益	1,343,466	846,264	62.99	営業費用	1,596,362	289,238	18.12
営業外収益	483,893	1,870	0.39	営業外費用	82,924	42,617	51.39
特別利益	1	1,684	168376.10	特別損失	550	136	24.71
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,193,193	16,142	1.35	資本的支出	1,868,055	669,782	35.86
企業債	1,031,300	0	0.00	建設改良費	1,298,059	377,872	29.11
国庫(県)補助金	128,750	0	0.00	企業債償還金	568,996	291,910	51.30
負担金	33,143	16,142	48.71	予備費	1,000	0	0.00

2 令和4年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	令和4年度	令和3年度	比 較		
			増 減	比 率	
現在処理区域内人口(A)	111,500 人	111,211 人	289 人	100.26	%
行政区域内人口(B)	113,089 人	112,817 人	272 人	100.24	%
普及率(A)/(B)	98.59 %	98.58 %	0.01	—	
水洗便所化人口(C)	110,452 人	110,233 人	219 人	100.20	%
水洗便所済戸数	56,405 戸	56,239 戸	166 戸	100.30	%
水洗化率(C)/(A)	99.06 %	99.12 %	△ 0.06	—	
年間処理水量	12,131,704 m ³	12,332,107 m ³	△ 200,403 m ³	98.37	%
年間有収水量	10,567,199 m ³	10,715,179 m ³	△ 147,980 m ³	98.62	%
1日平均処理水量	33,238 m ³	33,787 m ³	△ 549 m ³	98.37	%

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、管渠更生工事を単独事業として825.1mを実施しております。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第12-2-2処理分区(大字上南畑地内)を単独事業として31.9m、新河岸第14処理分区(大字上南畑地内外)を単独事業として294.0m、新河岸第16-1-1処理分区(大字下南畑地内)を国庫補助事業として442.5m、単独事業として251.2m合計1,019.6mの管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、浸水被害軽減や施設の延命化等を目的に別所雨水ポンプ場の更新工事、柳瀬川第一排水区(大字水子地内外)の浸水対策概略検討業務委託等を進めてまいりました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

事業収益が 1,700,950,229 円(税込金額 1,795,501,307 円)で前年度対比 1.5%の減となり、事業費用では 1,510,524,078 円(税込金額 1,561,956,401 円)で前年度対比 4.2%の増となりました。この結果、190,426,151 円の純利益となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は 519,612,651 円(税込金額 519,748,235 円)で支出が 1,102,731,462 円(税込金額 1,147,624,770 円)となりました。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額 627,876,535 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 32,000,844 円、過年度分損益勘定留保資金 295,447,499 円、当年度分損益勘定留保資金 100,428,242 円及び減債積立金 200,000,000 円で補填しました。

ア 収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,700,950,229	100.00	事業費	1,510,524,078	100.00
営業収益	1,240,886,932	72.95	営業費用	1,415,808,324	93.73
営業外収益	459,338,337	27.01	営業外費用	94,552,761	6.26
特別利益	724,960	0.04	特別損失	162,993	0.01

イ 資本的収入及び支出(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	519,748,235	100.00	資本的支出	1,147,624,770	100.00
企業債	368,500,000	70.90	建設改良費	554,853,744	48.35
国庫(県)補助金	103,750,000	19.96	企業債償還金	592,771,026	51.65
負担金	47,498,235	9.14			